

## 令和2年度 事業報告書

特定非営利活動法人 埼玉農業おうえんしたい

### 1 事業実施の概要

NPO立ち上げ四年目にあつた2020年度は、コロナに翻弄された年であつた。しかしその中でも新しいTB商品と新しいHP・オンラインショップを立ち上げることができた。

TB商品は埼玉県新商品WARDを受賞したことで、数々のメディア露出機会をいただき、また販売機会も提供していただいている。FOODEX JAPANでもTB商品に対するデザイン評価は極めて高く、加えてシングルオリジンという日本茶の新しいカテゴリに対しても高い評価を得た。

HPおよびオンラインショップに関しても、新しくつくったHPはNPOおよび商品の質を押し上げてくれる働きをしている。これを機会に、NPOの信頼性を増して、より多くの企業との交流を得ていきたい。またオンラインショップについても、ようやく安定したところであり、きめ細かく対処することによって、顧客を増やしていきたい。

いくつかの品種茶に関しては、今後、茶葉量が不足する事態が想定されるが、「品種茶とはそのようなもの」と説明をしつつ、積極的な販売活動を展開していきたい。

半面、インバウンドに向けた闘茶機会および「さいたまの旬を喰らう」ツアーは、オリンピック開催に合わせて大きな効果があるものと期待していたが、コロナのために全く開催できなかった。2021年のオリンピックも外国人観客なしで開催される見込みであり、かつてのようにインバウンド客が街を闊歩する日が、将来来るかさえ覚束ない。しかし茶産地も、これからは茶という商品をただ売るだけではもはや生き残れそうにない。何らかのソフトを埋め込みながら、時間と空間と茶とをセットにして売っていく必要があると考える。そのための一つの重要な手段が闘茶であると考え、来年以降も少しずつでも試行を続け、採算性や宣伝集客方法の検討などを続けながら、闘茶を核とした茶産地ツアー（ティー・ツアー）の本格実施につなげていきたい。

文化的景観整備事業・農業遺産保全活用事業については、所有者の状況変化が起きた時点で、再度、保存手法を検討し直す。

### 2 事業の実施に関する事項（2020年 4月 1日 ～ 2021年 3月 31日）

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者 の予定 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	支出 額 (千 円)	
観光イベント 事業	「埼玉の旬を喰らう」ツ アーイベント	4/1- 3/31	埼玉県	12人	首都圏 世界	45人	0
	闘茶イベント試行	4/1- 3/31	埼玉県	16人	世界	1000 人	0
農産品輸出促 進事業	狭山茶海外市場開拓事 業	9/1～ 12/31	イタリ ア・フラ ンス	3人	EU	100人	2000
	狭山茶農薬分析事業	6/1～ 12/31	EU	7	埼玉県 EU	400	0
新規商品開発 事業	狭山茶の新商品開発	6/1- 3/31	埼玉県	2人	埼玉県	10人	1000

文化的景観整備事業・農業遺産保全活用事業	入間市根岸集落の建物、環境調査（所有者の意向聴取）	4/1- 3/31	入間市	2人	埼玉県	10人	0
商品製作販売事業	狭山茶商品の国内販売	4/1- 3/31	埼玉県	2人	埼玉県	1000人	715

3715千円

(2) 特定非営利活動以外に係る事業  
なし